

世界中の協同組合は国際協同組合 同盟 (ICA) が定めた「協同組合のアイ デンティティに関する ICA 声明」 に基づいて運営されています

定義

協同組合は、人びとの自治的な組織であり、自発的に手を結んだ人びとが、共同で所有し民主的に管理する事業体を通じて、共通の経済的、社会的、文化的なニーズと願いをかなえることを目的とする。

価値

協同組合は、自助、自己責任、民主主義、平等、公正、連帯という価値を基礎とする。協同組合の創設者たちの伝統を受け継ぎ、協同組合の組合員は、正直、公開、社会的責任、他人への配慮という倫理的価値を信条とする。

原則

協同組合原則は、協同組合がその価値を実践するための指針である。

- 第1原則 自発的で開かれた組合員制
- 第2原則 組合員による民主的管理
- 第3原則 組合員の経済的参加
- 第4原則 自治と自立
- 第5原則 教育、研修、広報
- 第6原則 協同組合間協同
- 第7原則 地域社会への関与



詳しくは
こちら

協同組合はよりよい世界を築きます Cooperatives Build a Better World

協同組合は国際協同組合年を機に、地域社会の課題解決や持続可能な開発目標 (SDGs) へのいっそうの貢献と、協同組合への理解の促進、認知の向上をめざす取り組みを進めています。

2025国際協同組合年 (IYC2025) 全国実行委員会

ウェブ
サイト



協同組合 100 のス
トリー~IYC2025



事務局

一般社団法人日本協同組合連携機構 (JCA)



〒162-0826 東京都新宿区市谷船河原町 11 番地
飯田橋レインボービル 5 階
TEL : 03-6280-7200 (代表)
FAX : 03-3268-8761
<https://www.japan.coop/>



今年、2025 年は 国際協同組合年 です

国連は、国際社会が一年を通じて共通の課題に取り組む「国際年」を毎年制定しています。

世界中で深刻な課題が山積する中、今年 2025 年は「国際協同組合年」
“International Year of Cooperatives”
(IYC) と定められました。
それはなぜでしょうか？



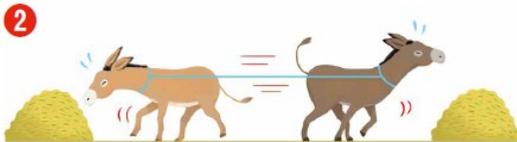
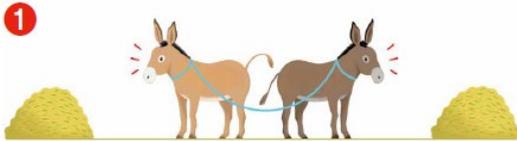
国際協同組合年

協同組合はよりよい世界を築きます

協同組合は組合員が力を合わせて 共通の願いを実現する組織です

農業協同組合、漁業協同組合、森林組合、生活協同組合、労働者協同組合、労働金庫などさまざまな種類の協同組合があります。

いずれの協同組合も、人々が自発的に組合員となり、相互扶助（助け合い）の精神に基づき、協力して事業を営み、共通の願いを実現し、課題を解決する組織です。



対立、競争ではなく助け合うことにより、共通の願いを実現するのが協同組合の精神です。

協同組合は持続可能な開発目標（SDGs） に貢献しています

「持続可能な開発目標（SDGs）」は、貧困や飢餓、不平等、気候変動、紛争などの課題を解決し、すべての人々が平和と豊かさを享受できる世界を実現するための国際的な目標です。

協同組合は、持続可能な生産と消費、食料安全保障、気候変動対策、地域の人々への医療・福祉、働きがいのある人間らしい仕事の創出、すべての人が参加できる社会づくりなど、さまざまな分野で SDGs に貢献しています。



さまざまな協同組合への人々の参加が、地域社会を豊かにしています。

国際協同組合年は、SDGs に貢献する 協同組合の認知を高め、発展させる ために制定されました

国連が 2025 年を「国際協同組合年」としたのは、協同組合が SDGs に貢献をしていることを多くの方々に知らせ、協同組合を振興する（盛り立てる）ためです。

グテーレス国連事務総長は世界の協同組合へのメッセージの中で「私たちの世界が複雑な課題に直面し、SDGs の達成に向け取り組むなかで、皆さまの団結した努力は不可欠です」と語っています。



グテーレス国連事務総長のビデオメッセージはこちら